

☆基本的に、目的・内容・方法に分けて考え、書いています。※(父)

☆今回は、誰に何を学んできたのかも明らかにしてみました。(ピュアなイノベーションってやつ)※(父)

1. 目的 (どんな人になってほしいか・今年たたかっていること)

☆「自分も周りの人も大切にできる人になる」 ※秋桜と性教協の影響
(これが土台。ここ最近毎年同じ。子どもも、私もそうなれるように。)

- ・みんな(子ども、大人問わず)の声を聴く。※(秋)(同)ってかいろんな人が言ってる
- ・大人不信にさせない。先生は味方、信じてもいい存在と思ってもらって中学へ送る。※(秋)(父)
- ・研究主任や分会代表者として、学校づくり・職場づくりの視点で行動する。(浜の秋桜化計画)

2. 内容 (クラスのこと・子どものこと)

<基本的なスタンス>

①笑顔とCCQ。(できるだけ。信頼の証だから。)* (父)TTの会

②勝手に決めない。子どもに相談する。

(クラスの中の民主主義の根源。主権者教育の第一歩。でも時間がかかる。でもそれも学び。)

※(同)民青の影響?

③本人の意思を尊重する。(最後に決めるのは本人)* (民)

④本当に嫌なことは無理強いしない。

(相手が嫌がったらやめることは子どもにも要求する。同時に、嫌なことは嫌と言えるように。

いじめ・DV・犯罪などにつながらないように。人権感覚の根源のように最近思っている。)

※(性)

⑤相手を好きになる。(子どもの”ええやん”を探す。大人とは、相手との一致点を探る。)

※土佐いく子さんからの学び

⑥自分を知ってもらおう。(とりつくろわない。私の素のキャラ全開。)* (秋)

⑦どうすれば分かってもらえるかを常に考える。(強制ではなく”協力”を求める。)* (秋)

⑧相手のやさしさを探して(信じて)付き合う。

(相手が柔らかい部分を出せるように。ひとりの人間として尊重するけど、変な大人扱い、社会人扱い?をしない。そうじゃないと生きづらい。自分の弱さもお互いに出せない。「教室は間違えるところだ」を生活指導に使うってかんじ?)

※三重の稲垣先生・泉佐野の奥村先生・兼次さん・幼年の先生・姪っ子からの学び

⑨自分だけでなんとかしない。子どもにも大人にも助けてもらう。* (秋)

ご存じの通り&見るからに、
右脳派・感情系で生きているので
良し悪し悪し悪しです。
だから気をつけることがいっぱいです。
最近素の自分と教師の自分の一致点が
分かってきたような気がします。

<クラスの子どもたち>

- ・29人。女14男15。支援学級の子はいない。
 - ・やる気がすごい。
 - ・基本的に素直で真面目。いじわるがいない。
 - ・学んだらそのまま吸収していくタイプ。
 - ・任せるとやる気になってくれる。(お楽しみ会とかすごい・・・)
- ◎勉強しんどい人多すぎ。(大阪府下ワースト1の岸和田のワースト2?1?)

・・・つまり、超教師次第な子どもたち!!!こわ!!!

☆中身としては・・・

リーダータイプが3人(男子)いて、その子たちが大きな雰囲気を作っており、控え目な子どもたちが、それに倣っていることが多い。

周りの子は遠慮するところもあるが、「リーダー3人の天下統一抑圧政治」まではいかない。周りの子も積極的にリーダーになりたがる。ところどころ仲たがいもあるが基本は仲良し※。

大きな3年生という感じ。この3人(特にDさん)に、「自分も周りの人も大切にできる人」になってもらうことが、クラス全体の人権が尊重されることにつながっていると感じる。

※ リーダー3人の関係が変わりがち。保護者ともよく話をしている。

※ リーダーに埋もれて他の子が活躍できないなどがないように、意図的にグループを操作することもある。

<気になる子どもと私の課題>

・Kさん。女子。

・「担任の先生がひいきするから学校に行きたくない。友達も無視するような気がする。もう死にたい。」とSNSに載せ、心配した他校の友達が母親に伝える。それを校長に相談。非常に多感な子で、独占したい気持ちが強く、その友達からも私が相談を受けている。学校では何も訴えがなかったが、個人的には自傷行為等になっていかないか心配していた子だった。自分自身、Dへの対応など、周りの子どもに甘えていた部分もあったので、そこから意識して変えるようにしている。保護者とも懇談で話はできており、大きくもつれることにはなっていないが、慎重に対応していきたい。HSPの子もいるかもしれない。「大丈夫!」は本当の大丈夫ではないかもしれないと思う必要がある・・・ということを学んだ。

3. 方法 (去年と何を変えたのか・やってきたこと)

主軸にしてるのは、社会・体育・総合・図工。特に社会は命かけてる系。子どもにもバレバレ。

<去年と違うこと>

- ・来週の予定一覧を金曜に配る。(信頼してもらうため。ある意味有無を言わさない側面も・・・)
※泉佐野の遠藤先生の影響&ⓧ
- ・外部講師の出張授業を積極的に活用する。
- ・授業。2年連続なので、アップデートを。(去年社会頑張ってたほんまに良かった。)

- ・評価基準を明確にして見える化する。
(ノート、音読テスト、実技など見えにくい部分は、基本的なことであるが、苦手だった。) ※同僚の北野先生の影響
- ・国語の授業スタイルを変えた。(子ども同士の発見のほうが成績が良いという事実…)

<やってきたこと>

- ・勝手に決めない。
ほぼすべて相談し、こっちで決断しないといけないことについては理由を説明し、納得してもらえよう心がけた。(先生も主人公。)※(秋)
- ・去年の先生の方法を使いながら、新しいことを入れる。
例：集合知、給食当番固定と輪番のハイブリッド、一方通行など
- ・体育の実践※(回)
 - マット実践
(動物歩きから、側転、個人連続技、集団連続技、集団表現へ。運動会実践への伏線。)
★研究テーマ体育な上に自分が主任なので、研究授業をして広報頑張ってみました。
 - リレー実践
(直線ペアリレーから、周回リレー。運動会への伏線。)
- ・選挙へのこだわり。学級委員は選挙制。選挙管理委員会の出張授業。選挙啓発ポスター。 ※(回)(民)
- ・子どもから宮本についてのアンケートを学期ごとに回答してもらう。※三重の平岩先生
「教師にとって困ったことをする子は自分のあかんとこを教えてくれている。」 by 平岩先生

☆実践はつたないけれど、主体者を育てるという意識を持たないといけないなと感じるこの社会状況・・・。聴いてもらう、自分の意見が反映される、おかしいと思ったら言う、自分で考える、などなど。。。

4. つまづいていること

- ・Kさんのこと
- ・AさんとDさんの関係
- ・良い顔するけど、放課後の姿・・・

5. 2学期は

- ・運動会実践!!!!!!!!!!!!!!
(実行委員は全員で。応援団・企画局・編集局に分かれてそれぞれ活動。通称3局。笑)